

上映に向けて 本作品は各地域での社会活動や文化活動などに携わる方々には是非ご覧いただきたい作品です。長年取り組んできた活動を次世代にどうバトンタッチしていくのか。今、多くの団体で抱えている問題を本作品を通して、是非、議論を深めて頂けたら幸いです。小規模な集まりでも上映が取り組めるように料金設定をいたしました。

コロナウィルスが収拾していない現在（2020年10月現在）。上映に当たっては主催者団体で十分なソーシャルディスタンスの対策の下、行って頂けたらと思います。尚、上映会は団体でも個人でも取り組んで頂けます。

●上映料金

基本上映料金は 30,000円となります。

これは 30名までの料金で最低保証となります（20名の上映会でもこの料金となります）

※例えば総観客数 70名（大人 50名・高校生 10名・小・中学生 10名）の場合

大人 1,000円×50名 = 50,000円 高校生 500円×10名 = 5,000円 小・中学生は無料
この場合は、合計 55,000円の上映料金となります。

※主催団体で上映料金を支払っていただき、無料の上映会も行えます。

◎上映料など予算に合わない時は、ご相談ください。

まずは取り組んで頂き、皆さんの活動の力にこの作品がなれたらと願っております。

●会場に関して

- 各団体の会議室や公民館・視聴覚室などで、プロジェクター・テレビモニターでの上映会をご検討ください。
- こちらから上映日の一週間ほど前に DVD かブルーレイをお送りいたします。
終了後は DVD かブルーレイを速やかにご返却をお願いいたします（返却時の送料は主催団体でお支払いください）。
- 会場費等は、主催団体でお支払いください。

●上映料金の精算

上映終了後、2週間以内に上映結果を Fax かメールでご報告ください。

ご報告に基づき請求書を送らせて頂きます。

ご精算は上映終了後、1か月以内をお願いいたします。

監督：山本 洋子

企画・製作：山本 駿・山本 洋子 プロデューサー：桑山 和之 撮影：野間 健 編集：小林 由加子
整音：深田 晃 録音スタジオ：シネマサウンドワークス チラシデザイン：スタジオほもり 版画：穂積 肇

挿入曲 / 作詞作曲：菊池 哲史
「矢白別のきたのなら」「矢白別のうた」「かがり火のうた」

映像・資料提供：日本電波ニュース社 / 法学館憲法研究所 / 矢白別平和資料館 / 三宅 信一
撮影協力：NPO法人 スワンの家

ナレーション：余 貴美子

協賛団体

矢白別平和委員会 / 矢白別平和資料館 「矢白別平和盆おどり」総実行委員会 海兵隊移転訓練反対別海町連絡会
別海町農民組合 / 矢白別「平和の家」美術館 根室教職員組合 / 新日本婦人の会別海支部 全釧路教職員組合 / 北海道高等学校教職員組合釧路支部
道東勤労者医療協会 / 道東勤労協働組合 釧路赤十字病院労働組合 / 釧路ローカルユニオン 釧路地区労働組合総連合 / 釧路民主商工会
建交労働支部 / 新日本婦人の会釧路支部 厚岸平和委員会 / 日本共産党釧路地区委員会 米海兵隊矢白別演習場移転反対釧路連絡会
日本平和委員会 / 北海道平和委員会 平和・民主・革新の日本をめざす全国の会 全国労働組合総連合 / 安保破壊中央実行委員会 全日本民主医療機関連合会

「矢白別物語」製作支援の会
畑田 重夫 三宅 信一 吉野 宣和

製作：独立プロ名画保存会

上映のお申し込み まずは、メールかお電話でお問合せください。

独立プロ名画保存会 住所：〒168-0062 東京都杉並区方南 2-4-17 方南川「コホビ」303号
TEL & Fax 03-5929-7326 E-Mail: hozonkai4057@gmail.com HP: https://meiga-hozonkai.com



ドキュメンタリー映画

『矢白別物語』

北の大地からのメッセージ





未来への風

矢白別の平和運動には、さまざまな風が吹いている。ある時は、米海兵隊、自衛隊の訓練へのためみない監視から生まれる厳しい抗議の風。ここには、厳しい風、さわやかな風、やさしい風がふいている。どの風も、創意あふれる活動の中から生まれてくる。

2014年の『第50回平和盆おどり』から撮影を始めて足かけ6年。

どんな場にも、歌があり、踊りがあり、さまざまな文化が交錯し、人と人がつながっているようすは万華鏡のようだった。みんなが心にとめているのは豊かな未来への歩みと、次世代への率直な語りかけとおおらかさ。

私たちはこの風をしっかりと受け止めたい。

未来へつなげていくものはなにか？次の世代へ渡すバトンはなにか？

矢白別に来る人々の姿からは、様々な生き方が紡ぎだされ、私たちの生き方へのヒントにあふれている。

監督 山本洋子

明るくねばり強い矢白別の仲間たち

北の大地北海道に「陸上自衛隊矢白別演習場」と称する広大な基地がある。ここは単に自衛隊のみならず日米軍もかつての沖縄県道104号越えの実弾演習をわざわざここにきて実施している。まるで米軍の基地のようでもある。

『平和に生きる権利』はゆずり渡すことはできないと長期に渡ってねばり強くたたかっているこの人びとには悲壮感はない。恒例の平和盆おどりをふくめ、明るく楽しくたたかいつづけている。山本洋子監督の六年間の執念の結実をぜひ観ていただきたい。そして、沖縄をはじめ全国の反基地闘争の共通の学習兼観賞の素材としていただきたい。



国際政治学者 畑田重夫

矢白別の運動とは？

矢白別は北海道、知床・阿寒連峰から根室・釧路まで広がる根釧原野の一角にある酪農地帯。この原野のほぼ中央、別海、厚岸、浜中の三町にまたがって、総面積1万7千ヘクタールにわたる日本一大きい陸上自衛隊矢白別演習場が広がる。

かつて、ここ矢白別一帯は、戦後食糧不足対策として、開拓がはじまり大勢の若者たちがやってきた。その中に川瀬汎二、杉野芳夫がいた。

1962年、突如、陸上自衛隊の演習場計画が持ち上がり、村議会も受け入れてしまう。執拗な土地買収が始まるが、杉野、川瀬は踏みとどまる。『自分たちが切り開いた土地だ。私はここにいたい』教師、農民、労働者を中心に共闘組織が生まれた。日本国憲法を駆使して2人を支えたことによって演習場のど真ん中に2か所の民有地が未だに存在し、二人が亡くなった後も二軒の民家に3人が暮らしている。

55年以上続いている夏の『平和盆おどり』、暮れの『平和もちつき・望年会』、自衛隊の監視活動、1995年から始まったアメリカ海兵隊移転訓練の監視活動などを全国へ発信し、それに応え各地から大勢の人がやってくる。かれらは交流するなかで、エネルギーをもらい、それぞれの活動の場へと、その火をつないでいく。



「矢白別物語」製作支援の会 事務局長 吉野宣和

矢白別の人々の楽天的な明るさは、60年前「演習場2万町歩を返せ」と農学生、労働者が叫び始めた時から培われてきたものに違いありません。

1年間のたたかいを誇ってもいい。活動家でなくてもいいんだ。監視テントのおにぎりを作るのだって平和運動なんだ。ストーブの薪をつくるのも立派な活動なんだ。自分でできることで参加する—それがたたかい。「矢白別の人」はそう思っています。川瀬汎二さんがそうであったように、あの人がそうしてきたように、「矢白別には誰にでも居場所があり」「ここにいるのがたたかい。足しげくここに

通うのがたたかい」なのです。映画はそういう人たちの姿を描いてくれています。だからこそこのたたかいは半世紀を経てなお途絶えることなく、これからもつながっていくのだらうと思わせてくれます。

沖縄の人々の戦後75年のたたかい、でも失われぬあのおおらかさにはとても及ばないけれど、矢白別のたたかいにも未来を感じます。この映画が多くの人の目に留まることを期待しています。

映画「矢白別物語」を観る

北海道の東端、根釧台地にひろがる日本一広い自衛隊演習場・矢白別演習場。戦後、開拓者が心血を注いで必死に開拓した土地だ。それを自衛隊が買収したが、最終的に土地を売らず、「私はここにいたいのです」と残り続けたのが川瀬汎二さん一家だった。そこで馬を放牧し、生活を続けること自身が、憲法の平和的生存権を守り、貫く闘いだ。その川瀬さんを慕い、支え、支援し、共につながりあう根釧の人々の輪。そして、北海道、全国の人々の輪。それは川瀬さんが亡くなった後も連綿と続いている。若い世代にも、年に一度の演習場のど真ん中でのスケールの大きな平和盆踊りを一つのつながりの軸として。いったい、この人々の連なりはどのように生まれているのだらう。そこに集い、つながりあう人々の思いとは何なののだらう。スケール大きい自然の中で、監督らはそこに集う人々を丹念に追い続ける。そして、そこが単に政治的な闘いの場だけでなく、人間が養分を蓄え、ぬくもりを取り戻し、蘇生していく、何かもっと根深い人間的な交流の場なのだと気づかされる。平和憲法を守るということが、ただそれだけでなく、人権や自然や子どもたちや農業を守るなどなど、人間的な様々な活動の集合体なのであり、それが矢白別という場所に集っているのだということが見えてくる。だから、そこはとても暖かい。明るさや素朴さに包まれている。だから、いまもつながり、新しい世代にも受け継がれている。そこには、憲法を守る闘いの豊かな姿がある。映画はそのことを伝えようとしている。

日本平和委員会事務局長 千坂 純



「矢白別のうた」
作詞・作曲 菊池哲史
LUNETA 海VANGUINE
未来への希望をこぼし
自由と平和を求めLUNETA
矢白別のうた
LUNETA 胸がつか
かがり火は 燃やさない
その火をかまひん 燃やさない
LUNETA 海VANGUINE
未来への希望をこぼし
自由と平和を求めLUNETA
矢白別のうた